

- 代表理事交代にあたってのごあいさつ
- 特集1・きみまち塾公開フォーラム
- 特集2・FSC認証木材を使った家づくり
- イベントの予定
- 事務局からのお知らせ

特定非営利活動法人 緑の列島ネットワーク  
 東京都中央区入船3-1-2 ライオンズマンション新富第2-303  
 〒104-0042 TEL 052-566-0064 FAX 052-566-0074



www.green-arch.or.jp

## 代表理事交代のごあいさつ

NPO法人緑の列島ネットワークが発足して3年が経ちました。この間、我々は度々、全国各地の講演会やフォーラムに呼ばれ、地域の方々と交流する機会を得ました。ここで耳にし、目にしたのは、「このような運動こそ我々が地域でやろうと思っていることだ」という熱い言葉と志を持って既に何かを始めている人の姿でした。「この国は未だ捨てたものではない」と勇気を与えられたのは我々のほうでした。その後、全国には実に多くの地域ネットワークや、個人の実践者が生まれ、そして今も生まれつつあります。国の政策に「顔の見える木材利用」や「長寿命住宅の推進」等が盛り込まれたことも、多くの自治体が山と町をつなぐ家づくりに取り組みはじめたのも嬉しいことです。しかし、この多くの人々の思いと地域の活動を全国のネットワークとしてつなぎ、大きな力にすることは未だに出来ていません。NPO法人の有効な組織運営や、インターネット等での全国の皆さんとの日常の緊密な交流も今後に残された課題です。この度、理事改選の期に当たり、地域の活動を担っている人や、各分野で活躍するもっと若い人に代表や理事になってもらいます。今後はNPO法人緑の列島ネットワークをもっと皆さんのものにして下さい。ありがとうございました。

緑の列島ネットワーク 前代表理事 長谷川 敬

## 「宣言」から「実践」へ

“緑の列島ネットワーク”の賛同者の方々が、朝日新聞の2000年1月1日に、「近くの山の木で家をつくる運動」を宣言して、早3年の月日が経とうとしております。この宣言が大きな波紋を呼び、日本全国で、「近くの山の木で家をつくる運動」を実践する地域に根ざした市民運動が広がりました。そのような活動実績を踏まえて当ネットワークの情報プラットフォームとしての役割が益々重要となってきました。新理事体制では、各地域で実際にご活躍されている方々を新たに選任し、より堅固な全国ネットワークの形成に向けて前進する所存です。事業活動としまして、全国の地域ネットワーク会議やフォーラムの開催・支援、専門家を育てるスクール活動の後援、森林基金の活用、木材品質基準の策定などの実践的な活動を繰り広げる計画です。また、事務局運営の効率化を図り、活動の機動性を高めるため、新たに2004年1月より名古屋に事務局を移転いたします。会員の皆様には、新体制へのご理解と一層のご支援と、事業活動への積極的なご参加をたまわりますよう新理事を代表いたしまして、お願い申し上げます。

緑の列島ネットワーク 新理事長 大江 忍



## 地域を再検証する「きみまち塾」

秋田県二ツ井町は古くから全国に知られた天然秋田杉の本場です。しかし、現在では天然杉はほとんど伐り尽くされ、かつて集散地として賑わった町も静かです。モクネット事業協同組合では、植林された秋田杉・自然乾燥の並材を活用した地域活性化を図るため、二ツ井町を含む米代川流域の秋田杉を都市に供給したり、地域材利用の町営住宅建設の推進に取り組んできました。また、資源を循環させ、自然と共生できる自立した地域づくりを目標に掲げて、流域の生産者や県外を結ぶネットワークを築いて活動しています。

こうした活動の中から、モクネットの枠を越えようと地域の人たちと2003年9月に発足したのが「きみまち塾」です。安心して住み続けられる“よい町”を目指し、地場産の木材を利用した町並み景観の整備、里山のコミュニティーに残る知恵に学ぶ研究などを通して、二ツ井らしさを再検証しようとしています。

10月25日、「きみまち塾」が主催する初めての公開フォーラムが開催されました(後援:緑の列島ネットワーク、共催:モクネット事業協同組合)。町民をはじめ、県内外から約100人が参加。「一人一人につながる地域(まち)づくり」をテーマに、県外各地でまちづくりに携わっている方々の講演を中心とした内容でした。

講師は、熊本県水俣市九木野の村おこし施設・愛林館館長の沢畑亨さん、まちづくりの先進地である山形県金山町教育委員会の村松真さん、農村の地域振興や食に関する研究が専門の熊本大学文学部教授の徳野貞雄さんの3人です。

沢畑さんは、全国からボランティアを募り、イベントを交えて行う農作業や山仕事など、愛林館で行っているプロジェクトの実例を紹介。プロジェクトが長続きするには、主催者と参加者それぞれが「使命感」「達成感」「利益」のバランスが取れていることが大切であると述べました。



村松さんは、地元の材を使って地元の大工が地域に建てる「金山住宅」など、行政サイドから金山のまちづくりを主導してきた方です。豊富なスライドを交えて金山の町並み景観と、それを実現させるまでの試行錯誤を熱く語ってくれました。

徳野さんは、「地域活性化は、世帯数や人口が減っても地域の人が生き活きとしていること」が前提だといいます。ともすれば観光客や移住者の誘致に走りがちな町おこしの発想を180度転換し、高齢化社会も視野に入れた農村の活性化を具体的なアイデアも交えて提案しました。

### 県外から50人が参加、二ツ井を堪能

講演の合い間には、地区の梅内婦人会や「きみまち塾」塾生の方々が食事を用意して下さいました。「きみまち塾」の体験学習で再現した炭窯の炭で焼いた比内地鶏やナタ漬けなど手作りの漬物、名産の片栗うどんなど郷土色豊かな料理は、心のこもったおもてなし。参加者は、女性ボーカルのミニライブを楽しみながら旺盛な食欲で応えていました。

会場のすぐ脇を流れる川では、橋の上から鮭の産卵が見られました。また、この地区には45年ぶりに再現された炭窯があります。雑木の枝を編んだ骨組みに土を塗った素朴なつくりで、表面に残る指の跡が縄文的な味わいを出していました。

豊かな自然があり、里山の知恵が残る二ツ井に、町の人はずいぶん思いを寄っているのでしょう。今回は、二ツ井の人を主役にしたフォーラムでぜひ聞いてみたいところです。

このフォーラムに2泊3日の日程で県外から参加したのは、緑の列島ネットワークの会員や学生など約50人。24日の午後は地場産業の「和田石」の採掘場、26日朝からは、世界遺産・白神山地のブナ林、天然秋田杉や広葉樹が混じる原生林・七座山、日本3大美林の天然秋田杉・仁鮎水沢スギ植物群保護林など紅葉を楽しみながら山々を見学、夜は参加者同士の交流会と、主催者側が設定してくれたイベントで二ツ井の3日間を堪能しました。

## 尾鷲ひのき普及を目指すネットワーク

日本は森林国にもかかわらず、国内で使う木材の8割を輸入に頼っています。その結果、日本の森林は手入れをされずに放置されたり、木を伐った跡地が禿げ山になったりしています。山が荒れば、川や海までも荒れてしまいます。

古くから「尾鷲ひのき」の産地として知られている東紀州も例外ではなく、間伐の遅れた山や、皆伐後の未立木地が目立ってきています。このままでは地域の産業としての山林経営や木材業が衰退していくだけではなく、地域の環境の悪化や自然災害の発生など、人々の生活をも脅かしかねません。

近年は環境問題やシックハウスの問題など、森林や無垢の木材に人々の目が向けられつつありますが、近くの山の木、産地や履歴のハッキリした木を使うことで、それらの問題点、疑問点を少しでも解消できるはずで、またそうすることで地域の森林は手入れされ、山も、川や海も豊かになります。

「東紀州・尾鷲ひのきの会」は、「家を建てるなら近くの山の木で！」をテーマに「FSC森林認証木材」を中心とした地元東紀州の「尾鷲ひのき」を広く普及させることで、地域の木材業の活性化、地域の森林の健全化を目指した活動を進めていこうと設立されました。以前は複雑だった木材の流通のルートも簡素化し、山から家まで顔の見える、住まい手に安心して使ってもらえるネットワークづくりを目指します。

## 木の良さを知ってもらう家づくり体験

去る10月26日には、海山町大田賀山林（速水林業FSC認証取得山林）にて開催された「FSCの森林とふれあう集い」および「海山町快適環境フェア」（主催：FSCの森サミット実行委員会、協賛：地産地消ネットワークみえ・尾鷲林政推進協議会・尾鷲みどりの協会、後援：緑の列島ネットワーク）に、「紀北の木で家を建てよう～FSC認証木材を使った家づくり」を出展しました。

会場では、木に実際に触れ、香りを体感することにより、木の良さをもっともって知ってもらい地域の木を使った家づくりを推進していきたいという思いで、地元で育ったFSC認証木材（主にひのき）を使い、地元の製材業、加工業、大工さんとともに、一般の人たちに家づくりを体験してもらいました。また、ブースでは施工事例や「緑の列島ネットワーク」のパネル展示、会のチラシ配布、乾燥材FSC認証木材を使った製品の展示販売等を行いました。

今回の家づくりは、昨年と同イベント（紀北で悠遊おもしろ体験博覧会）に続く2回目です。昨年は3坪の建家に2坪のウッドデッキという小さな小屋を、5時間程度かけて一般参加者に建てていただきました。

今年は少しステップアップして、9坪（一部ロフト）の建家に4坪のウッドデッキという家を、当日までに地元の大工さんが形にしておき、当日は一般の方にウッドデッキの板張りなどを体験していただきました。昨年と違い、ゆっくりと体験していただく中で、家の構造や材料の説明、尾鷲ひのきの特徴や地元の木で家を建てることの意味など、多くのことをご理解いただく場になったと考えております。

参加者は小さいお子様連れの夫婦から年配の方まで、また地元の方以外にも遠くは京都や神奈川からも参加いただきました。事前予約は先着20名でしたが、当日は好天に恵まれイベント全体で2千人近い来場者があったということもあり、ブースに足を運んで下さった方は300人を超えました。

参加者および見学者からは、「木の良さを見直した！」「ひのきの香りが素敵！」「実際に建てる際には検討してみたい」などの感想が多く聞かれました。仕上がった家の中で寝ころんで遊ぶ子供や、椅子に座ってくつろぐ姿も見られ、「実際に触れ、木の香りを体感することにより、木の良さをもっと知ってもらおう」という目的は達成できました。一方、「やっぱりひのきで建てると高くなるでしょ？」とか「木ばかりだと少しくどい感じがする……」、「欲しいけど場所に限りがあるので……」といった声も聞かれました。

木の良さを強調するのではなく、他の材料との比較や組み合わせなど様々な形での提案の必要性を強く感じました。今回の家づくりをモデルに、今後はそうした質問や要望に応えられるよう努めていきたいと思っております。木材のことだけでなく、それを生み出す森林のことから木材業全般、そして実際の家づくりまでを、山林経営、製材業といった山側の視点から今後も情報発信していきたいと思っております。



●里山の風景をつくる会 NPO設立1周年記念  
里山シンポジウム

～市民がつむぐ防災ネットワーク・南海地震に備えて～  
・日時：2003年12月14日（日）  
・場所：徳島市〈ふれあい健康館〉  
・問合せ先：NPO法人里山の風景をつくる会（事務局）  
TEL：088-655-1616 FAX：088-655-1632  
E-mail：satoyama@zd.wakwak.com

●神奈川のもで家をつくる会 完成現場見学会

横浜M邸、横浜T邸の完成現場見学会をオープンハウス形式で開催  
・日時：2003年12月14日（日）10：00～16：00  
・問合せ先：神奈川のもで家をつくる会  
TEL：0466-33-5311 FAX：0466-33-5729  
（神奈川エコハウス株式会社）

●「近くの山のもで家をつくる」スクール名古屋

森林資源と木材の循環利用を木造建築の構造や仕上げを学びながら実際の現場を見学して、実践的な方法を経験豊富な講師陣から受講する。  
・時期：2004年5月～11月  
・内容：セミナー7回、フィールドワーク2回  
・定員：50名  
・会場：名古屋工業大学  
・問い合わせ先：近山スクール名古屋運営委員会事務局  
〒466-8555 名古屋市中村区御器所町  
名古屋工業大学 ながれ領域 藤岡研究室内  
FAX：052-735-5182 E-mail：fujioka@nitech.ac.jp

●予告

「近くの山のもで家をつくる」スクールは、今後東京・東北等全国展開を計画中です。

★ 各イベントの内容等は変更されることがありますので、直接お問い合わせください ★

2002年度 通常総会のご報告

● 第1号議案 2002年度事業報告と収支について

1. 事業報告について  
「近くの山のもで家をつくる」運動の3年間を振り返りまとめました。

2. 2002年度（第3期）決算報告

● 第2号議案 2003年度の事業計画案及び予算案について

1. 事業計画について  
これからの「近くの山のもで家をつくる」運動の、基本理念と基本方針を再確認しました。

- ・ 運動の基本理念  
日本の山のもで家をつくることで環境問題の克服と持続可能な林業を営むことのできる自立する循環型地域づくりへの貢献をする。またこれらの活動を通じて、住まい手に安全・安心で、健康的な住まい・生活の提案を行う。
- ・ 運動の基本方針  
「近くの山のもで家をつくる」運動の理念を共有する人やグループ、団体の幅広い運動を通してネットワーク化を進めます。

2. 収支予算計画について

事務局経費を縮小し、情報の受発信のためのホームページや会報の充実をはかります。また、ネットワーク会議、フォーラムと合わせて木質基準委員会等の事業の拡大を計ります。

● 第3号議案 役員、監事の改選について

定款に基づき、以下の方々が役員に選任されました。  
理事長：大江忍（ネットワーク会議中部地区担当）／副理事長：加藤長光（広報担当、ネットワーク会議北海道東北地区担当）・菅野照夫（総務担当、ネットワーク会議北海道東北地区担当）・松井郁夫（事業担当、ネットワーク会議関東地区担当）／理事：大河原章吉（ネットワーク会議関東地区担当）・上山和豊（ネットワーク会議九州地区担当）・佐野春仁（ネットワーク会議関西地区担当）・藤岡伸子（事務局担当、ネットワーク会議中部地区担当）・牧大介（広報担当、ネットワーク会議中国地区担当）・光島善正（ネットワーク会議関西地区担当）・山邊豊彦（ネットワーク会議関東地区担当）・和田善行（ネットワーク会議四国地区担当）／監事：秋野卓生

事務局が名古屋に移転します

2004年1月1日から事務局の住所が変わります  
新しい住所と電話番号はこちら

特定非営利法人  
緑の列島ネットワーク

〒450-0003  
名古屋市中村区名駅南  
1-3-15 サントピアビル 3F  
tel:052-566-0064 fax:052-566-0074  
E-mail:jimukyoku@green-arch.or.jp  
URL:http://www.green-arch.or.jp

